

本レポートについて

編集方針

本レポートは、さまざまなステークホルダーの皆さまにキヤノンの取り組みをご理解いただくために、業績・財務状況、ESG関連情報をはじめ、統合報告に求められる幅広い情報を掲載しています。

本年は、CEOメッセージの中で、2021年から始まった5カ年の中長期経営計画を説明しています。その他、事業戦略、新型コロナウイルス感染症への対応、価値創造プロセス、マテリアリティ(重要課題)に沿った活動などを紹介しています。

制作にあたっては、GRIスタンダードの中核(CORE)オプションに準拠しているほか、金融安定理事会(FSB)の気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)が推奨する項目についても配慮しています。

このほか詳細な財務情報については、「CANON ANNUAL REPORT 2020」にてご覧いただけます。

参考：CANON ANNUAL REPORT 2020
<https://global.canon/ja/ir/library/annual.html>

報告対象期間

原則として、2020年(2020年1月1日から12月31日)の連結会計範囲における経済・社会・環境の各項目に関わる活動を中心に報告しています。なお、環境項目の報告範囲は、キヤノンの事業拠点での活動(開発・生産・販売)だけでなく、サプライヤーにおける原料・部品製造、お客さまによる製品の使用など、製品ライフサイクル全体を対象としています。また、重要な目標・指標・取り組みなどについては、補足的に2019年以前や2021年以降の情報も記載しています。対象地域や組織が限定されている情報については個別に明示しています。

報告対象組織

キヤノングループ全連結対象会社343社(国内57社、海外286社)のデータを取りまとめて報告しています。


発行時期

2021年4月
(前回：2020年4月、次回予定：2022年4月)

参考になっているガイドラインなど

- ・GRI「サステナビリティ・レポート・スタンダード」
- ・国際統合報告評議会(IIRC)「国際統合報告フレームワーク」
- ・気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)による提言
- ・経済産業省「価値協創ガイダンス」
- ・環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」
- ・環境省「環境会計ガイドライン(2005年版)」

GRIスタンダードの対照表を以下のWebページに掲載しています。なお、マテリアリティに沿ったアプローチ(→P31~38)では、該当するGRIスタンダード開示項目につき、アイコンとともに明示しています。

GRI開示項目アイコン例：

参考：GRIスタンダード対照表
<https://global.canon/ja/csr/search/gri.html>

開示データ

算出方法の変更や対象拠点などの拡大に伴い、これまで開示した過去データの見直しを行っています。従って、一部過去の開示データと異なる部分があります。

文中の表記

「キヤノン」はキヤノン株式会社およびその連結子会社すべてを含むグループ全体を、「キヤノン(株)」はキヤノン株式会社単体を表しています。また、「従業員」は社員のほかパート・アルバイトなども含みます。また、欧州・中東・アフリカ地域を含めて「欧州」としています。

第三者意見と第三者保証

キヤノンでは、ヴッパータール研究所のフィル・ユストゥス・フォン・ゲイブラー氏、サンクロフト・インターナショナルのジュディ・クチュウスキ氏から「第三者意見」(→P124)をいただき、サステナビリティ活動の向上につなげています。また、2020年におけるGHG排出量、エネルギー使用量ならびに水使用量に関するデータについて、ロイド レジスター クオリティ アシュアランス リミテッド(LRQA)による第三者保証(→P127)を受けています。

免責事項

本レポートには、キヤノンの過去と現在の実事だけでなく、発行日時点における計画や見通し、経営方針・経営戦略に基づいた将来予測が含まれています。この将来予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸与件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象が予測とは異なったものとなる可能性があります。読者の皆さまには、以上をご了承いただきますようお願いいたします。

問い合わせ先

TEL：03-3758-2111
E-mail：susrepo@mail.canon
Webサイト：<https://global.canon/ja/csr/>

目次

本レポートについて	01	経営基盤	97
キヤノンの企業理念	03	役員一覧	97
CEOメッセージ	05	コーポレート・ガバナンス	99
戦略と方針	11	リスクマネジメント	104
経営計画の変遷	11	知的財産マネジメント	110
At a Glance	13	ブランドマネジメント	112
事業戦略	15	データ集	113
新型コロナウイルス感染症への対応	23	企業情報ほか	124
キヤノンの価値創造	25	第三者意見	124
価値創造の歩み	25	第三者保証	127
価値創造プロセス	27	会社概要	129
マテリアリティとSDGs	29		
財務・非財務ハイライト	39		
CSR活動報告	41		
CSRマネジメント	41		
ステークホルダーエンゲージメント	43		
地球環境の保護・保全	45		
人と社会への配慮	67		
人権と労働	67		
製品責任	81		
社会貢献	87		
サプライチェーンマネジメント	91		

キヤノングループのCSR情報発信体系

キヤノンは、グループのCSR活動を報告する「キヤノンサステナビリティレポート」を毎年、日本語と英語の2言語で発行しています。さらにWebサイトやインスタグラムでは、より詳細な情報をタイムリーに発信しています。このほか、各国・地域のグループ会社でも、それぞれのニーズや状況に応じた情報をWebサイトや各種報告書にて発信しています。



Canon Sustainability Report 2021 (本誌)

CSRサイト
<https://global.canon/ja/csr/>

環境サイト
<https://global.canon/ja/environment/>

キヤノンマーケティングジャパン
 CSRサイト
<https://canon.jp/corporate/csr>

キヤノンUSA CSRサイト
<https://www.usa.canon.com/internet/portal/us/home/about/corporate-social-responsibility/>

キヤノンヨーロッパ
 サステナビリティサイト
<https://www.canon-europe.com/sustainability/>

キヤノン中国
 CSRサイト
<http://www.canon.com.cn/csr/>

キヤノンオーストラリア/
 キヤノンニュージーランド
 サステナビリティと環境
<https://www.canon.com.au/about-canon/sustainability>

キヤノンCSRインスタグラム
 公式アカウント @canon_csr
https://www.instagram.com/canon_csr/